

自然災害情報分科会の活動

2008年4月9日

特定非営利活動法人 事業継続推進機構 (BCAO)
自然災害情報分科会

※ 本資料の文責は分科会にあり、BCAO全体の見解ではありません。

活動状況

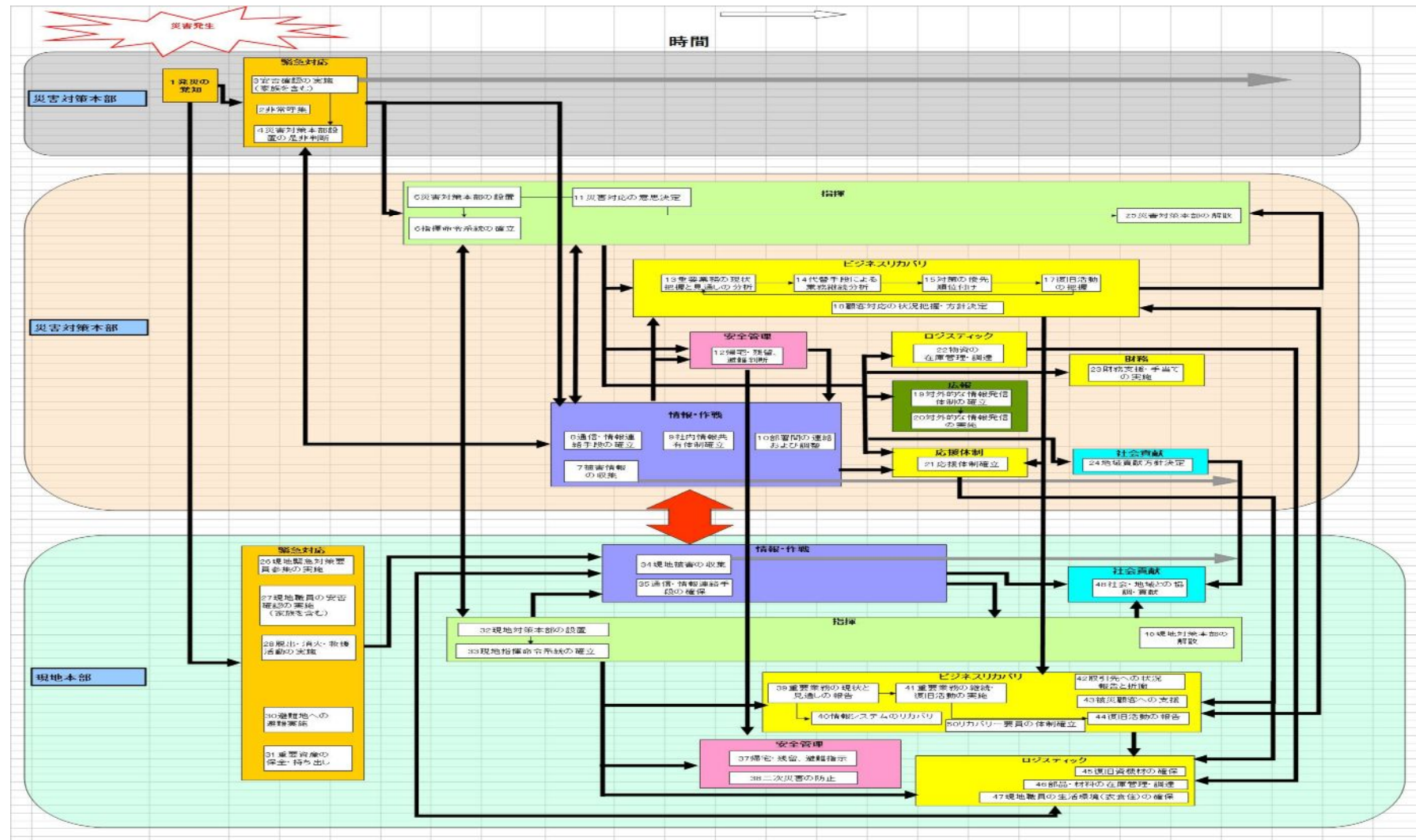
◆ 自然災害情報分科会の活動

- 自然災害情報分科会では、災害発生直後からの情報について注目し、情報の重要性と各アクション項目について必要な情報を検討し、インプット情報、アウトプット情報を抽出した。

運 営

- 分科会を月1回の頻度で実施。
- これまでに20回の分科会を実施している。

50項目のアクションを災害対策本部と現地本部に分け、時系列的にフロー化



※ 本資料の文責は分科会にあり、BCAO全体の見解ではありません。

各アクションにおけるインプットアウトプット情報

組織	構成員	インプット	番号	アクション	アウトプット
メンバー (各班)	防災担当	地震の規模・地域(マグニチュード・震源・震度・到達時間)	1	発災の覚知	規定以上の地震情報(地域・震度)
		呼集対象者の名簿・呼集実施基準	2	非常呼集	集合状況・呼集回答結果
		規定以上の地震情報(地域・震度)			
		社員名簿・安否確認実施基準	3	安否確認の実施(家族を含む)	安否回答結果(安否・出社の可否・状況・所在・返信有無など)
		規定以上の地震情報(地域・震度)			
		規定以上の地震情報(地域・震度)	4	災害対策本部設置の是非判断	災害対策本部設置の指示(場所・時間・レベル)
		安否回答結果			
		速報レベルでの被災概況			
		災害対策本部設置基準			
		本部設置場所の被害状況			

今後の活動予定

◆ミクロな情報までを含めた情報の必要性

- 初期の情報（気象庁からの地震情報など）に注目が集まっているが、それ以外にも重要な情報は数多くある。必要な情報の整理は、ほぼ終えたので、この情報の取得や共有方法などを整理していく。
- まとめた情報の収集方法、そのための平時からの備えを検討する。

特定非営利活動法人
事業継続推進機構
自然災害情報分科会

A Specified Non-Profit Japanese Corporation
Business Continuity Advancement Organization (BCAO)